

科目名	測量学Ⅱ Surveying II			担当教員	宮崎 耕輔		
学年	2年	学期	前期	履修条件	必修	単位数	1
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	17134008	単位区分	履修単位
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生で学んだ距離測量、水準測量、角測量の技術を利用して行うことができる測量として、トラバース測量について学ぶとともに、閉合トラバースなどによって測定した結果を用いた面積計算ならびに、両端断面平均法や点高法などによる体積計算できる能力を涵養する。</li> <li>・平常授業（演習・レポートを含む）に対する真摯な取り組み態度を涵養する。</li> </ul>						
進め方	授業内容は必要最小限の項目にとどめる。授業内容の理解を助けたり深めたりするために、必要に応じて、実験実習と密接に関連することがある。そのため、理解度・習得度を確認しながら授業を進め、全員が授業内容を理解できるよう配慮する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. ガイダンス(1) （本科目の位置付け、授業内容と成績評価方法） 2. トラバース測量(6) (1) トラバース測量の概要 (2) トータルステーションシステム (3) トラバース測量の外業 (4) トラバース測量の内業			※ 測角の点検と角度調整ができる。 ※ 方位角の計算ができる。 ※ 緯距、経距の計算ができる。 ※ トラバースの調整ができる。 ※ 座標を求めることができる。  (B-2)			
	[前期中間試験](2)						
	3. 面積(3) (1) 三角区分法による面積計算 (2) 座標による面積計算 (3) 横距、倍横距による面積計算 4. 体積(3) (1) 両端断面平均法による体積の計算 (2) 点高法による体積の計算			※ 面積の計算方法を説明できる。 ※ 体積の計算方法を説明できる。  (B-2)			
前期末試験							
試験返却(1)							
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は、演習、課題への取り組みを20%、定期試験を80%として評価する。</li> <li>・2回の定期試験（中間試験ならびに期末試験）については、それぞれ50%として評価に入れる。完成されていない課題は未提出と見なし減点する（未提出0%）。</li> <li>・学習内容の重みは、2～4のそれぞれについて50%、25%、25%とする。</li> </ul>						
履修要件	・特になし						
関連科目	測量学Ⅰ，建設創造基礎実験実習Ⅰ（1年） → 測量学Ⅱ，建設創造基礎実験実習Ⅱ（2年） → 測量学Ⅲ（5年）						
教材	教科書：測量，実教出版，ISBN:987-4-407-20199-4 参考書：東京法経学院出版編集部(2014)：測量士補過去問マスター．東京法経学院出版，ISBN：978-4808924263 注) それぞれ，1年次からの持ち上がり						
備考							